

高度経済成長

1 / 1

平安

鎌倉

室町

安土桃山

江戸

明治

大正

昭和

平成

今日の問い

日本の経済は急成長して、人々のくらしや社会はどう変わったのだろう。

読み終えたら、最後の「問いへの答え」を見る前に、自分の言葉で答えてみよう。

1 高度経済成長

経済大国へ

高度経済成長

1950年代半ばから続いた、経済の急速な成長。

東京オリンピック

1964年に開かれた、アジア初のオリンピック。

新幹線

1964年に東京と大阪の間に開通した高速鉄道。

1950年代半ばから1973年ごろまで、日本の経済は年平均で10%前後という速さで成長した。これを**高度経済成長**という。1960年に池田勇人内閣は**所得倍増**を掲げ、産業の発展を進めた。1964年には**東京オリンピック**が開かれ、開会にあわせて東海道**新幹線**が開通した。1968年には国民総生産(GNP)が資本主義国で第2位となった。鉄鋼や自動車などの重化学工業が大きく成長したことが、その支えとなった。

暮らしも大きく変わった。電化製品が家庭に広まり、農村から都市へ人口が移って、都市は過密、農村は過疎になった。家族の形も、夫婦と子どもだけの**核家族**が増えた。

よばれ方	広まった品目
三種の神器	白黒テレビ・電気洗濯機・電気冷蔵庫
3C	自動車・クーラー・カラーテレビ

2 公害問題と文化

豊かさの陰で

公害

工場の排水や排煙などによる、人々の健康や環境への害。

水俣病

熊本県などで起きた、有機水銀による公害病。

環境庁

1971年に公害対策のためにつくられた役所。

急速な経済成長のかげで、工場の排水や排煙などによる**公害**が深刻になった。熊本県と鹿児島県の**水俣病**、新潟県の新潟水俣病、富山県の**イタイイタイ病**、三重県の**四日市ぜんそく**は「四大公害病」とよばれた。被害者が企業の責任を問うた四大公害裁判は、1970年代初めにいずれも被害者側の勝訴となった。

国は1967年に公害対策基本法を定め、1971年に**環境庁**を設置して対策に取り組んだ。文化では、1949年に**湯川秀樹**が日本人ではじめてノーベル賞(物理学賞)を受賞し、1963年には手塚治虫の「鉄腕アトム」がテレビアニメとして放送された。1970年には大阪で、日本初の万国博覧会が開かれた。

テレビの普及によって、プロ野球や大相撲、プロレスなどが人々に親しまれ、家族そろって同じ番組を楽しむ姿が見られるようになった。

問いへの答え

1950年代半ばから高度経済成長が続き、東京オリンピックの開催や新幹線の開通もあって、日本は世界有数の経済大国となった。電化製品が広まって暮らしは豊かになったが、水俣病などの公害が深刻になり、国は環境庁をつくって対策を進めた。

次は **ノート** で、下線に語句を書きながら確かめよう →

